

2学期を振り返って

12月21日(金)の終業式の
代表生徒4名の発表です。



出口 隆 くん (1年生代表)

僕はこの2学期を振り返って良かった点と改善すべき点が二つずつあります。
まず、良かった点の一つ目は積極的な行動ができたことです。僕は1学期より自ら立候補する事が増えました。生徒会活動や学年委員会の仕事に挑戦することができました。3学期は責任を持って生徒会活動と学年委員会の仕事を頑張りたいと思います。
二つ目は、周囲を見てどう行動すればいいか考えることができるようになったことです。1学期は休み時間や授業中などがさわがしかったりしても、言葉をかけたり注意したりすることができませんでした。しかし2学期になると、周囲をよく見て少しずつ注意をすることができるようになりました。まだみんなを振り向かせることはできませんが、3学期は強い気持ちで頑張りたいです。視野をさらに広げて、東中の発展のために力を尽くしたいです。
次に、改善すべき点の一つ目は、自分の授業中の発表が少ないことです。それは、間違えたくないという感情があるからです。先生方は、間違ってもいいからと言われますが、それでも自信を持つことができませんでした。ここで発表をすればと後悔することも多くありました。だから3学期は、失敗をおそれずに、たくさん発表できるように頑張りたいと思います。

改善点の2つ目は、大事な時にはっきりと声を出せなかったことです。中央委員会などで学年からの発表などがありますが、声が小さくなり、友達に「もうちょっと大きくしたら」と言われることがありました。しかし改善することができませんでした。だから3学期は、普段から声を大きくするようにしたいです。
2学期は様々な行事があり、充実していて、あっという間に過ぎました。しかしそれは、3年生、2年生に必死についていったおかげです。
3学期は僕たち1年生も、東中の生徒として主体的に動けるようになりたいと思います。まずは冬休みを充実して過ごすことがスタートです。

兎玉 姫乃 さん (2年生代表)

今日で2学期も終わりますが、たくさんの行事に取り組む中で多くのことを学びました。私は、三つの観点から振り返ってみました。
まず、行事です。体育大会や文化祭では、実行委員を中心に活動し、学年や学級の垣根を越えて仲間と協力することの大切さを学びました。そして先月行われたロードレース大会では、声援を送り合い、よりクラスの絆が深まったと感じました。
また、2学期は、テストへの意識を高めるものとなりました。テスト前になると友達と教え合いをしたり、先生に質問に行ったりする光景が見られ、学年全体で学習への意識が高まったと思います。
そして2学期、2年生が大きく成長するきっかけとなったのは、職場体験です。職場では、時間を守ることがとても重要だと思います。以前は毎朝ぎりぎりに登校している人が多いことが問題になっていました。でも、決められた時間の約束を守ることによって自分の行動に責任をもつことを学び、遅刻をする人がほとんどいなくなりました。また実際に事業所で働いてみて、制服やあいさつについて教えてもらい、その結果、容儀服装や授業態度も改善され、学年の雰囲気も良くなってきたと思います。
ポスターセッションでは、人に伝え、更に深く学ぶことが出来ました。2年生にとってこの行事の多い2学期は、思いで作りでなく、自分の行動や将来について考えさせられる良いきっかけとなったと思います。
3学期は立志式があります。自分の将来について、これからどう生きていくか、自分の志について考えたいと思います。3学期、気持ちの良いスタートが切れるように冬休みもしっかり部活動や勉強に励み、自分のこれからのことを語り合えるようになりたいです。

中村 彩愛 さん (3年生代表)

体育大会、文化祭、駅伝・ロードレース大会など、2学期は様々な行事がありました。3年生にとってはどの行事も中学校最後で、すごく熱が入っていました。1・2年生もそんな3年生の気持ちに答えてくれ、学年の垣根を越えて協力し合い素晴らしいものをつくりあげることができたと思います。そんなたくさんの思い出ができた2学期も、今日で終わりです。みなさんは充実した2学期を過ごすことができたでしょうか。
私はこの2学期を、大きく二つに分けて振り返りました。
一つ目は、生活面です。3年生になり、入試を意識した行動をする人が増えている反面、まだ気持ちの切りかえができていない人もいます。私自身、行事の前はうかれてしまったり、行事後はすぐに切りかえをすることができていませんでした。受験生という意識を常に持ち、考えて行動できるようにしたいです。
二つ目は勉強面です。部活も終わり、学校から帰ったらすぐに勉強に取り組むことができました。宅習の内容は書くだけの宅習ではなく、授業やテストで間違えたところのやり直しをしたり、宅習とは別に入試問題に取り組んだり、自分のための勉強をすることができました。学校の授業でも集中して毎時間取り組むことができたと思います。しかし、教科によっては自分の答えに自信がなく、積極的に発表することができていませんでした。自分の意見をしっかりと言うことは面接などにもつながります。ですから間違えることをおそれずに積極的に発表できるように頑張りたいです。
3学期はいよいよ受験が始まります。まずは1月にある私立入試に向けて、冬休みに苦手なところを克服するなど、上手な時間の使い方をしていきたいです。そして全員合格に向けて、よいスタートがきれるよう学年委員会を中心に、3年生全員で切磋琢磨し合いながら充実した3学期を過ごしていきたいです。

川越 佳梨 さん (生徒会代表)

みなさんにとって、この2学期はどういったものになりましたか。私は「挑戦から始まるスタート」が多い2学期となりました。以前校長先生がおっしゃった「目は高く、頭は低く、心は広く」という三つの言葉を覚えているでしょうか。これは「目標は高く、謙虚で、寛容であれ」という意味です。私はこの言葉を常に頭に入れて過ごす事を日々意識してきました。目標を高く持つ事で、体育大会のリーダー、生徒会役員選挙の立候補など、挑戦心が芽生えました。また、何かを成し遂げたり、誰かの協力が必要な時、いつでも謙虚な心、寛容であるということは本当に大切な事だと気づく事が出来ました。この三つの言葉を常に頭に入れ意識して行動する、難しい事ですが、私にとってこの2学期は自分の可能性を広げるきっかけともなりました。
また、未知の世界に感動と不安を抱えスタートした生徒会認証式から約2か月が経とうとしています。すべての活動を通して、計画力、実行力、常に周りを見て行動する力など先輩方のすごさを実感する日々が続いています。そんな日々を変える為にも、今学期の自分をしっかりと振り返ることが重要になってきます。ですので、冬休みの間しっかりと反省をして3学期につなげていきたいです。
では、生徒総会で取り上げられ、全校で取り組んでいるあいさつについて振り返ってみたいと思います。12月の生徒集会で、挨拶の5つのポイントを押さえたのですが、それから約2週間が経ちました。「おすしめじ」の合い言葉を意識した挨拶を実践することができているでしょうか。私自身、「おすしめじ」の「め」、目を見てが、自分の不足しているところだと思いました。どうしたら相手の目をしっかりと見て挨拶をする事が出来るのか。私は相手の目の少し下を見て挨拶をするなどの工夫をしながら克服していきたいです。
振り返ってみると、これから始まる冬休みの間に反省をし、変えていかなければならない事がたくさんありました。冬休みは地域の方々とお会いする機会も多いことと思います。「おすしめじ」を意識し、実行していきましょう。これからも生徒会活動へのご協力をよろしくお願い致します。